

広島市植物公園 見どころ案内

2020年2月22日
通巻第450号

春の特別ラン展開催中

4000鉢 12万輪の洋ランが大温室に集結しました。荘厳華麗・艶麗繊巧な洋ランの世界をお楽しみください。

日本庭園の春の花木(梅・桃)

暖冬の影響で、ウメ・モモが一度に咲きました。今週が見ごろです。

アロエ・フェロックス

(ツルボラン科)

南アフリカ原産の大型のアロエ。薬局で処方されるアロエエキスの原料になります。棘が鋭いことから、別名はモウシロカイ(猛刺蘆薈)・アオワニ(青鱈)。

リップサリス

・ブルケルリイ

(サボテン科)

ブラジル原産。青簾の名称で流通しています。熱帯林の樹上に着生する変わったサボテンです。

クリスマスローズ

(キンポウゲ科)

ベゴニア温室周辺やログガーデンで咲いています。これから春に向けてバラエティーに富んだ花色で彩られます。屋外展示場では、鉢植えを展示しています。

ハナナ[ナノハナ] (アブラナ科)

文部省唱歌「朧月夜」が有名で、春の花として連想されますが、1月末には早咲きの品種が咲き始めます。また、八百屋などでも出回ります。花が少ない時期に咲くので、養蜂作物としても重宝されています。

ミツマタ

(ジンチョウゲ科)

古くから和紙の原料とされ、特に高額紙幣に使われます。コショウノキやユキワリイチゲも近くで咲いています。

展示会のご案内

- ◇展示資料館 1F (2/22~2/27)
- フラワーデザイン展
- ◇展示温室・大温室(2/22~3/1)
- 春の特別ラン展
- ◇屋外展示場(2/22~3/1)
- クリスマスローズ展

早春の山野草

里山の野草園にもいよいよ春がやってきました。セツブンソウ、ミチノクフクジュソウなど、春の妖精が勢揃い。フクジュソウは晴れると花びらが開きます。

カメリア・ユーシエネンシス

(ツバキ科)

中国湖南省原産のツバキ。白い一重咲きの花で、現地では種子から油を採るために栽培しています。

シナマンサク

(マンサク科)

中国原産で、1~3月に黄金色のリボン状の花を咲かせます。中央部は暗赤色です。開花時期にも前年の古葉が残ります。

カワヅザクラ (バラ科)

河津とは静岡県の名産です。オオシマザクラとカンヒザクラの自然交雑種と考えられています。早咲きの桜で、そろそろ見ごろです。奥にはカンザクラも咲いています。

ウメ園

斜面の広範囲で、約40品種の梅が見ごろを迎えています。下からだけではなく、あずまやに上がる階段の途中からもぜひご観賞ください。

